

『大上地区社協』ニュース



■ No.52

■平成25年1月発行

■大上地区社会福祉協議会

■発行責任者 市ノ澤 寅夫

北の台小の3年生が今年も絵手紙を

大上地区社協が管理・運営している“深谷大上ふれあいの家”で、大上地区社協の岩月理事が店長を務める「火曜喫茶店」で絵手紙展を開催したのが縁で昨年度、北の台小学校3年生全員が絵手紙作りに挑戦し、見事な絵手紙を作って好評だったことから、今年度も3年生が挑戦した。

12月4日（火）午前9時30分に同校体育館に3年生全員の70名が集まり、絵手紙講師の植松さんから描き方の指導を受け、自宅から持参した果物や野菜を描き、言葉も添えて出来上がった。

今回も個性豊かな見事な出来栄の絵手紙に、内藤校長を始め担任の先生方も驚いていました。

当日は、大上地区社協から市ノ澤会長以下5名と絵手紙サークルの5名がアシスタントとして参加し、児童を指導しながら親睦を深めていました。



体育館で絵手紙に挑戦の3年生

北の台中学の工芸部員の作品展

北の台中学校の工芸部員の作品を一堂に展示した作品展は、昨年に続いて今回は2回目を迎えて12月11日（火）に、深谷大上ふれあいの家の「火曜喫茶店」で開催された。

今回は35名の部員が、木を材料にして漆を塗って仕上げた皿類や湯呑み茶碗などの作品61点を4日間展示し、地域の皆さんや同校の生徒など100名を超える見学者があった。見学者の中には「作品を譲ってもらえないか」などの希望があるなど、生徒の力作に感心して見入っていました。



中学生の作品に見入る見学者

北の台小の下校見守りの感謝状展

大上地区社協では、北の台小学校から日ごろの下校見守りに対して感謝状を頂いたことから、12月18日（火）の「火曜喫茶店」で感謝状を披露する“感謝状展”を催した。

展示したのは同校の児童全員がお礼のカードを作り、全学年のクラスごとにまとめた感謝状で、当日は、全ての感謝状を館内に展示、一般の見学者と共に同校3年生全員も地域を知る授業の一環として先生に引率されて来館して、見学していた。

来館した人は「子ども達の感謝の気持ちが伝わってきます。日ごろの見守りは防犯だけでなく、子ども達の心の癒しの効果もあるんですね。」と語っていました。



小学生全員の手作り感謝状を展示

児童の下校見守りご苦労さん会

例年実施している小学校の2学期最終日の「児童見守りご苦労さん会」が、今年も開催された。

今年度は12月21日（金）に下校見守りが終わった後、大上地区社協会員の23名は大上自治会館に集まり、今回も綾北小の鈴木校長と北の台小の内藤校長も特別に出席され、昼食をとりながら和やかなうちにもお互いに労をねぎらいつつ懇親を深めていました。

特に両校長から「お陰様で今年も登下校時における事故は一件もなく、見守りして頂いたお陰と深く感謝します。」とのお礼の挨拶を頂き、出席した会員は3学期も頑張る決意を新たにしました。



市ノ澤会長からねぎらいの挨拶